曳く

担ぐ

橋本の秋祭

毎年10月、市内各地を勇壮なだんじりが巡る秋祭が行われます。

橋本のだんじりには、和歌山県有形民俗文化財指定の「橋本の舟楽車」や、現役最古の岸和田式のだんじりであり、橋本市有形民俗文化財である「東家の曳きだんじり」などがあります。

また、隅田八幡神社で行われる秋祭は起源が鎌倉時代まで遡るといわれ、和歌山県無形民俗文化財に指定されています。

今年も、五穀豊穣・無病息災の願いを込めて、大人から小さな子どもまで大勢の市民が秋祭を盛り上げました。